

# もくじ 3年生

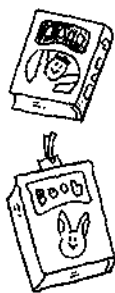
## はなまるリトルの使い方

1	■ 単語・物語 (1) 場面をつかもう	2
◆	かなづかい・送りがな	6
◆	国語辞典の使い方	7
■	単語・物語 (2) 気持ちを読み取ろう	8
◆	画数・筆じゅん	12
◆	言葉の意味 (1)	13
■	単語・物語 (3) 気持ちや性格を読み取ろう	14
◆	部首 (1)	18
■	言葉の意味 (2)	19
◆	単語・物語 (4) 主題を考えよう	20
◆	部首 (2)	24
◆	いろいろな意味のある言葉	25
■	詩 (1) 表現のへたつたに注意しよう	26
◆	漢字の読み (1)	30
■	音や様子を表す言葉	31
◆	詩 (2) 主題を読み取ろう	32
◆	漢字の読み (2)	36
■	こそあど言葉	37
◆	まとめ (1) 詩・物語を読みよう	38
■	説明文 (1) 話題と要点をつかもう	42

◆	漢字の読み (3)	46
■	つなぎ言葉	47
◆	説明文 (2) こそあど言葉とつなぎ言葉の活用	48
◆	漢字の書き取り (1)	52
◆	組み合わせた言葉・反対の意味の言葉	53
◆	説明文 (3) たたとえと言いかえを理解しよう	54
◆	漢字の書き取り (2)	58
◆	決まった言い方をする言葉	59
◆	説明文 (4) 理由を読み取ろう	60
◆	漢字の書き取り (3)	64
◆	ふつうの言い方とていねいな言い方	65
◆	説明文 (5) 段落的なつなぎを考えよう	66
◆	漢字の書き取り (4)	70
◆	主語・述語	71
◆	説明文 (6) 要旨をまとめよう	72
◆	漢字の書き取り (5)	76
◆	修飾語	77
◆	意見文 筆者の考えをつかもう	78
◆	符号・原稿用紙の使い方	82
◆	主語・述語・修飾語	83
◆	まとめ (2) 説明文を読みよう	84

## 「下リル」

◆	かなづかい・送りがな・画数・筆じゅん	90
◆	部首 (1)	91
◆	部首 (2) 符号・原稿用紙の使い方	92
◆	国語辞典の使い方・言葉の意味	93
◆	いろいろな意味のある言葉	94
◆	音や様子を表す言葉	95
◆	こそあど言葉・つなぎ言葉	96
◆	組み合わせた言葉・反対の意味の言葉	97
◆	決まった言い方をする言葉	98
◆	ふつうの言い方とていねいな言い方	99
◆	主語・述語	100
◆	主語・述語・修飾語	101
◆	漢字下リル 読み (1) (9)	102
◆	漢字下リル 書き取り (1) (9)	111



□は国語文章読解 ◆は文字・表記 ■は語句 ★は文法を表します。

# はなまるリトル

## 〈三年生〉 国語

### はじめに

四谷大塚では、小学校六年間を通して優秀児を育てる教育を行っています。その中で、一〜三年生を知能開発期と位置づけ、各教科の学習を通して知能を伸ばすことを目的に通信教育「リトルくらぶ」を平成八年四月からスタートしました。子どもの興味・関心・集中力を育み、考える力を伸ばすことがその基本方針です。しかし、知能開発を行う前提として、教科書の内容をしっかりと理解しているかが大変重要になってくることはいうまでもありません。

「はなまるリトル」は、各教科の内容をご家庭で効果的に学習でき、さらに自然に知能開発ができるように構成されています。ぜひ、本書の特色をご理解の上、ご家庭での学習に役立てていただき、お子様を「勉強もできる子ども」に育てていただく。

### この本の特徴

この本は、小学校三年生で学習する国語の内容を、基本から応用まで幅広く取り上げています。カリキュラムは学習指導要領をもとにして作成されていますので、学校の学習内容に加えて、三年生に必要な国語力の定着を図ることができます。

さらに基礎的な学習内容から発展した問題を考えさせることで、国語学習の理解を深め、国語のイメージを広げることが目的に構成されています。

長文読解では、子どもの興味をひくような日常生活に関する題材をテーマにした文章や、この時期に触れておいてもらいたい名作を取り上げており、語句や漢字の学習では、ゲーム感覚で取り組める漢字パズルなどを取り入れ、知能も伸ばす工夫がされているので、楽しく学習できます。

また、国語の基礎として重要な漢字・語句の力をつけさせるための「語句ドリル・漢字ドリル」が後半にまとめられています。繰り返し学習することでその力が身につきます。

### この本の使い方・おうちの方へ

#### 【長文読解】

国語学習として欠かせない、長文を読んで理解し設問に答える問題です。単元ごとに学習のポイントや丸印を使って具体的に説明してあります。これをじっくり読んでから「きほん問題」に取り組みようにさせましょう。「練習問題」では、少し長めの文章を読み取ることで、その単元のねらいやポイント定着させます。中には三年生としては高度な内容も含まれていますし、また、自分の言葉で表現させる問題もあります。自力で解けない場合は、学習のポイントを見直させたり、解説を参考におうちの方がヒントを与えてあげるなどして、一緒に取り組んであげましょう。

※まとめの単元では、読解が難しい文章が紹介されています。挑戦する意欲を持たせることが大切ですので、一度で読み取れない場合は、段落で分けて考えさせたり、音読させるなど工夫してあげましょう。

#### 【文字・表記】

国語による表現力や理解力の基礎を養うために、必要な言語に関する事柄を学習します。単元ごとにまとめて学習し、類題に取り組むことにより、自然に文字や表記に関する学力を定着させることができます。

#### 【語句】

人の活動や社会の事象などを表す語句を増やし、その使い方の範囲を広げたり、語句の性質や役割を類別することができるようにさせます。

#### 【文法】

文の組み立てを意識することにより、文を正確に理解し、表現する力を育てることが出来ます。また、状況に合った丁寧な言葉づかいについても学習します。

#### 【語句・漢字ドリル】

三年生として大切な語句の意味や使い方に注目して整理し、定着させます。また、三年生で学習するすべての漢字の読み書きを練習させます。必ずマスターさせたい問題ばかりですので、繰り返し練習させましょう。

#### 【解答・解説】

使いやすいように別冊になっています。お子様が問題をやり終えたら、おうちの方が一緒にチェックしてあげましょう。お子様と解説を読みながら確認することで、国語の解法のポイントがつかめるだけでなく、自己学習の習慣を身につけます。

# 1

## 童話・物語 (1)

### 場面をつかもう



#### 場面とは

●場面……童話や物語の中で、時間や場所、できごとなど

によって分けられる一つのまとまり。

童話や物語は、いくつかの場面からできています。どんな場面をつかんでいくことが、話の流れ(すじ)や登場人物の気持ちを理解する大きな手助けとなります。

#### 場面をつかむには

##### ① 「時」(いつ)を読み取ろう

●「時」をはっきり表す言葉を見つけてみましょう。

【れい】きのう・六月のはじめ・今から十年前

●時間や季節、年代が分かる表現を見つけてみましょう。

【れい】空が赤くそまり(夕方)・さくらの花がさき(春)

アテネで開かれるオリンピックは(平成十六年)

##### ② 「場所」(どこで)を読み取ろう

●「場所」をはっきり表す言葉を見つけてみましょう。

【れい】東京に着くと・教室では

●どんな「場所」なのか分かる表現を見つけてみましょう。

【れい】波の音が聞こえてきた(海の近く)

##### ③ 「登場人物」(だれが)を読み取ろう

●人の名前や、人との関係に注意しましょう。

【れい】まさきはいちばんなかのいい友達だった。

●名前の出てこない人にも注意しましょう。

【れい】五才くらいの子どもがなっていた。

##### ④ 「できごと」(どうした)を読み取ろう

登場人物の「だれがどうしたか」を読み取りましょう。

とくに、主人公の行動には注意します。また、「何がどう

なったか」をとらえておくことも、登場人物の行動や

気持ちを理解するためにひつようです。

(1) この物語の場面は、いつ、どこのできごとを書いた

ものですか。あてはまる言葉を書きぬいて答えなさい。

①「いつ」……

#### きほん問題

○次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

日曜日の午後、わたしはとなりの町に行くために、バス

に乗っていました。

バスの中は少しこんでいて、せきはみんな人でいっぱい  
です。通路に立ったわたしは、ぼんやり外の風景をながめ  
ていました。

やがて、バスがせまい道にさしかかりのろのろ走り出す  
と、次のバス停で一人のおばあさんが乗ってきました。

おばあさんは手に荷物をさげ、バスの階だんをゆっくり  
上ると、おくのわたしの方にやって来ます。荷物を重たそ  
うに持ち、バスがゆれるたびに体を大きくゆらしながら、  
せまい通路を歩いてきます。そして、わたしのそばで立ち  
止まりました。

さつきから、① その様子を見ていたわたしは、

だれか、おばあさんにせきをゆずってあげて！

と、心の中でさげんでいました。

② そのときです。近くのせきから、

「おばあさん、こちらへどうぞ。」

と、わかい女の人が立ち上がって、せきをゆずったのです。

おばあさんは、

「悪いわね、ありがとうね。ありがとうね。」

と何度もその人におれいを言いながら、空いたせきにすわ  
りました。

② 「どこでのできごと」

となりの町に行く

でのできごと

(2) 物語に出てくる主な登場人物を三人書きなさい。

(3) 物語を二つの場面に分けると、後の場面はどこから始  
まりますか。はじめの三字を書きぬいて答えなさい。

-----

(4) ① 「その様子」とありますが、どんな様子ですか。も  
っともよいものをえらび、記号で答えなさい。

--

ア おばあさんが、わたしを見つける様子。

イ おばあさんが、せきをさがしている様子。

ウ おばあさんが、苦労しながら通路を歩く様子。

(5) ② 「そのとき」、どんなことが起こりましたか。かん  
たんにまとめて答えなさい。



目の前が急に開け、①少し平らな場所に出ました。先を歩いてきたひろしが、

「ようし、ここで一休みしよう。」と、声をかけてきました。

そこは切り立ったがけの上で、とても見晴らしのよいところ。洋助は大きく深きゆうをみると、遠くの海のように目を向きました。

はるか向こうの水平線を、大きな船がゆっくり進んでいきます。近くの港では、漁船が走っています。そしてそこからずつと右下のほうに、洋助の町がありました。

町の中央には駅があり、駅前にはたくさんの人や車が通っています。あつ、あんなところに、いつも通っている学校が見えます。ふもとでは、さつき登ってきた公園で大人や子どもたちが楽しそうに遊んでいます。それから、……。

②のどかな光景が目の前に広がっていました。

洋助は今まで苦労して登ってきたことなどすっかりわすれて、その光景に見入ってしまいました。なんとという自然の大きさでしょう。この大自然の前では、人間がとても小さく感じられるのです。洋助は感動で思わず、

③「ヤッホー！」

と、大声でさげんけんできました。

五月のさわやかな風が、二人のそばをふきぬけていきます。太陽がちょうど真上にのぼろうとしていました。

はじめ……

あと……

(5) 山道をいっしょうけんめい登っていく洋助の様子がかかる、れんぞくした二文をさがし、はじめの五字を書きぬいて答えなさい。


(6) ①「少し平らな場所」とは、どんなところですか。文中からさがし、書きぬいて答えなさい。


(7) ②「のどかな光景」にあてはまらないものをえらび、記号で答えなさい。

ア 港を走る漁船      イ 駅前の人や車  
ウ 公園で遊ぶ人々      エ 学校に通う子どもたち

--

(8) ③「ヤッホー！」とさげんだときの洋助の気持ちがかかるように、あてはまる言葉を文中からさがし、書きぬいて答えなさい。

光景のすばらしさに

--

する気持ち。

--

# かなづかい・送りがな

① 次の四つの言葉の中に、一つだけかなづかいのまちがっている言葉があります。それを正しいかなづかいに直して書きなさい。

① ちぢむ はなぢ  
ぢめん わるぢえ

② ずかん かんずめ  
ちず きれいずき

③ そうじ びょういん  
ほうずき ようふく

④ めいじん おねいさん  
よてい せいかつ

② 次の文でかなづかいがまちがっているものに×をつけ、右がわに正しいひらがなを書きなさい。

おもてのおうきなとうりを、おうかみがおうせいで、

ならんでとうつていきました。

③ れいのように、「行く」を□の前後に合う形にかえて書きなさい。

れい

今日

行か

ないで、

明日

行こ

う。

① 今日

□

ば、明日は

□

ない。

② きのう

□

た公園に、今日も

□

たい。

③ あの公園に、また

□

ことがあるだろうか。

④ — 線の言葉を漢字と送りがなで書きなさい。

① 自分の家へかえる。

□

② 答えをかんがえる。

□

③ 日の当たる時間がみじかい。

□

④ この家はあたらしい。

□

# 国語辞典の使い方

① 次の各組の言葉が、国語辞典に出ているじゆんに、1～5の番号をつけなさい。

①				
(オ)	(エ)	(ウ)	(イ)	(ア)
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
きやく	きやく	きやくせき	きやくせん	ぎやく
②				
(オ)	(エ)	(ウ)	(イ)	(ア)
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
サーカス	さとう	さつかく	ざつか	サッカー

② 線の言葉を、国語辞典に出ている形に直しなさい。

- ① 写真とくらべてみる。
- ② みごとにあざむかれた。
- ③ だんだん道が細くなる。
- ④ 子どもはおとなしかった。

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

③ 次の——線の言葉が国語辞典に出ているじゆんに、1～3の番号を書きなさい。

①	②	③
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
むねをそつて歩く。	目をそらそうとする。	そらぞらしいうそをつく。

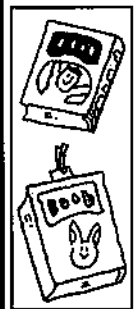
④ 国語辞典で「取る」の意味を調べると、ア～エのような意味がでていました。次の文の——線の「取る」の意味をえらび、記号を書きなさい。

- ① 部屋の中では、ぼうしを取る。
  - ② 畑に生えた草を取る。
  - ③ 一か月間、新聞を取る。
  - ④ ポストから新聞を取る。
- ア ひつようないものをなくす。  
 イ ものを手でつかむ。  
 ウ 体からはなす。  
 エ 持ってこさせる。つづけて買う。

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
----------------------	----------------------	----------------------	----------------------



## 気持ちを読み取る



## ① 気持ちを書かれています言葉を見つけてよう

① 気持ちが書かれています言葉を見つけてよう

**れい** 小さな女の子がひとりではないです。わたした

ちは、心配になって、車をおりました。

わたしたちは「心配な気持ち」になっていきます。では、なぜ「心配な気持ち」になったのでしょうか。それは、「ひとりではない」の小さな女の子を見かけたから「です」。このように、人が、ある気持ちになるのには、何か理由があります。気持ちを読み取る時は、かならず「なぜ」という気持ちになったのかを考えていきましょう。

気持ちを表す言葉には、「うれしい」「悲しい」のように、気持ちをそのまま表した言葉と、「わくわくする」「気にかかる」のように、どのような気持ちを表すのかわからないと、気持ちがわからない言葉があります。「わくわくする」は「楽しいことを期待する気持ち」、「気にかかる」は「心配する気持ち」を表す言葉です。気持ちを読み取るためには、このような言葉の意味を、たくさんおぼえることも大切です。

② 表情や様子が書かれています部分を見つけ、そこから気持ちを読み取る

**れい** テストの結果が悪かったので、家の近くまでく

ると、ゆりこの足は重くなりました。

「足が重くなる」というのは、歩く様子を表していますが、足が進まなくなる様子から、「家に帰りたくない」という気持ちが読み取れます。

また、「顔が赤くなる」のような表情を表す言葉からも気持ちがわかります。「赤くなる」からは、「はずかしい気持ち」が読み取れますね。

③ 動作や会話が書かれています部分を見つけ、そのときの様子から、気持ちを考えよう

**れい** よちよち歩きの妹が、まどから身を乗り出してい

ます。それを見て、なぎさはかけよりました。

「かけよりました」という行動だけでは、気持ちはわかりません。けれども、「よちよち歩きの妹が、まどから身を乗り出している」という様子がわかっているから、「かけよりました」という行動から「妹を助けなければ」というなぎさの気持ちがわかります。

## おうちの方へ

『はなまるリトル』の「語句・漢字ドリル」は、理解力や表現力を養うための基礎的な知識を定着させることに焦点を絞り作成されています。数多くの問題に触れることで、自然と語句や言葉に対する興味や理解が深まるよう配慮された教材です。

この「語句・漢字ドリル」を有効に活用することで、国語の基礎的な力がつき、総合的な読解力の向上にもつながります。

## 語句・漢字ドリルの特色

この「語句・漢字ドリル」は、『はなまるリトル』のカリキュラムをもとに作られています。

【語句ドリル】では、ここまで分散して学習してきた「文字・表記」「語句」「文法」の学習を項目ごとに集めることにより、それぞれの分野を整理して学習することができます（前ページ「対照表」参照）。お子様の苦手分野の克服にも役立ちます。

【漢字ドリル】では、例文の中で言葉の使い方を確認しながら、3年生で学習するすべての漢字の読み書きを練習することができます。

繰り返し使えるように、各ページの左上には「実施日」を書き込む欄を3回分作りました。その問題に答えるために必要とした時間と、正答した問題数を書き込む欄もあります。

おうちの方が記入してあげることで、お子様が緊張感をもって学習に取り組む環境を作ることができます。また、2回目以降の学習では、お子様の成果を評価する材料として利用してください。

## 語句・漢字ドリルの使い方

- ① 1ページが1回分です。実施日を記入し、時間を計ってあげましょう。
- ② 終わったら、かかった時間を記入し、答え合わせをしてあげましょう。
- ③ 正答した問題数を記入しましょう。
- ④ わからなかった問題や間違えた問題は、必ずもう一度やらせてみましょう。これによって、力がつきます。

\*繰り返し使うので本紙に答えを書き込ませず、別なノートを用意すると便利です。

### 2回目以降に注意すること

- スピードを上げることよりも、間違えずに解答することに重点をおかせましょう。前回までに間違えた問題は特に注意して取り組ませてください。
- 間違えが少なくなったら、1ページ10分以内で全問正解できるようになることを目安にしましょう（ページによって問題量や難易度が多少ちがいますので、ページごとに前回までより早くできるような目標を設けるのも効果的です）。

◎学校の予習・復習に活用したり、『はなまるリトル』の学習のあとの総仕上げとして活用してください。また、学期ごとの復習や、学年の総復習としても適しています。

◎『はなまるリトル』のここまでの内容との「対照表」を利用してください。長文読解と並行して学習させることで、学習内容の深い理解と定着につながります。